

2017年1月27日、兵庫県立のじぎく会館で、兵庫県立大学経営学部開本ゼミ、加納ゼミと、ひょうご仕事と生活センターとの共同研究の発表会を開催しました。

本共同研究は、毎年ワーク・ライフ・バランス（WLB）に関する研究テーマを設定して実地調査等を行い、新たな視点から課題の洗い出しや検討をすることで、県内の企業・団体への支援につなげていくことを目的としています。今年度は2つのテーマで研究を行いました。

開本ゼミは、ひょうご仕事と生活の調和推進宣言に登録した企業・団体を対象に、「企業における『女性活躍推進及びワーク・ライフ・バランスに関する実態調査』」を、調査票配布により実施しました（1,254通送付、418企業・団体から回答）。

調査結果として、女性の積極的な採用や、管理職への登用といった「女性活躍推進施策」と「業績の向上」「職場内環境の向上」「労働時間の適正化」「顧客満足度の向上」などの諸項目との間に一定の相関関係が認められました。今回の結果を踏まえて、そのような結論に至る理由や原因の解析など、より深く分析することが今後の課題です。



加納ゼミは、「IT系企業におけるWLBの実践の特徴、課題の解析、企業別の特徴の分析」をテーマにしました。宣言企業の中から、WLBに先進的に取り組むIT系の企業4社をピックアップし、調査票配布とヒアリングによるゼミオリジナルの「従業員意識調査」を実施しました。

発表会では、各社の特徴や課題の分析結果、改善指針の提言などを報告しました。A社では、人材確保・育成とい



った課題が明らかになり、そのためには職場内コミュニケーションの改善が必要だが、いわゆる飲みニケーションではなく、業務上の意思疎通の改善等が重要だと提言しました。B社では、公平な人事評価制度と新人の育成により、高い水準のWLBが維持されているとの報告がありました。これらの分析結果は、調査企業4社に個別に報告します。

今回の研究は、調査票分析で課題を発見し、ヒアリングにより検証するという手法により、より深く各社の課題にアプローチしようとする試みで、一定の成果がありました。今後は、調査対象を広げて業種ごとの特徴を探る方向性も考えています。

「健康づくりチャレンジ企業」にご登録ください

県政トピックス
TOPICS

今、働き盛り世代の健康リスクが注目されています。従業員が病気などで健康を損なうと、本人や家族だけでなく、企業としてもいろいろな影響を受けることになります。兵庫県では、従業員等の健康づくりに意欲のある企業を「健康づくりチャレンジ企業」として募集・登録し、その取り組みを支援しています。ぜひ、ご登録ください。

登録のメリット

- 各種補助制度が利用できます（例：社内で健康に関する研修等を開催する際、10万円を上限に全額補助）※消費税相当額のみ自社負担
- メンタルヘルス対策の専門家の派遣を無料で受けることができます。
- 登録企業を兵庫県ホームページに掲載します。従業員を大切にする企業として、会社のイメージアップにつながります。

問い合わせ先／兵庫県健康増進課 ☎078-341-7711（内線3244）

健康づくりチャレンジ企業

検索

「家族の日」運動を推進しましょう～家族のきずなを深めるきっかけづくりに～

兵庫県では、それぞれの家族にとってふさわしい日を「家族の日」と定めることを提案する運動を進めています。県庁では毎月第3水曜日を「全庁ノー残業デー」とし、家族で食事をしたり家事をしたりするなど家族と一緒に過ごす時間をつくることを職員に呼び掛けています。皆さんの企業でも、「家族の日」運動を「ノー残業デー」などに絡めるなど、家族・家庭の大切さを考え、きずなを深めるきっかけとなる取り組みを進めていきましょう。

問い合わせ先／兵庫県男女家庭課 ☎078-341-7711（内線2780）